

横浜市事業評価会議会議録

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 平成23年10月29日（土）17時55分～18時00分  |
| 議 事 | <p>閉会の挨拶</p> <p>（齊藤進行役）以上をもちまして本日の議題は終了して、横浜市事業評価会議を閉会したいと思います。閉会にあたりまして、主催者を代表しまして、横浜市の小松崎副市長からごあいさつをお願い申し上げます。</p> <p>（小松崎副市長）副市長の小松崎でございます。本日は長時間にわたりまして、熱心な御議論、お疲れさまでございました。改めまして心より御礼を申し上げたいと思います。私も午前から4コマばかり事業評価を拝見させていただきましたけれども、御専門の方々から非常に深い御意見をいただきましたし、また市民目線や利用者目線から、大変目からうろこが落ちるといようなこともいただきました。またそれぞれの共通することといたしましては、1つにはPRの問題、それから当然ですがコスト管理の問題、そして我々役所の中の組織間の連携の問題であるとか、よく言われますけど縦割りの打破、こういった指摘がありました。私自身も大変触発される、中身の濃い会議でございました。説明者側に座っております市のほうも、当局の職員にも大いにインスパイアされたと思います。本当にありがとうございます。</p> <p>もともとこの会議の大きな目的の1つに、次年度の予算にこれをできる限り反映させていきたいということがあるわけでございます。本来であればもっと早くにこの会議をセッティングさせていただきたかったですけれども、大震災がありましたのでこの時期になってしまったわけでございます。現在はもう既に私どもは来年度予算案の編成作業に入っているわけでございますけれども、例年に増して非常に厳しい状況でございます。ただ、その中で何を優先させていくかを明確に市民の方々にお示ししていくのが、行政である我々の責務であると思っておりますので、きょうの御議論を踏まえまして、しっかりと編成作業を進めてまいりたいと思います。また、この議論がどのような形で来年度予算に反映されたのかにつきましてはきっちりとお示ししまして、私どもの説明責任を果たしていきたいと思っております。そのことをお約束させていただきたいと思っております。</p> <p>本日は進行役をお引き受けいただきました齊藤先生初め、有識者の方々、そして公募市民の方々、そして市会の先生方、傍聴の方々に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>（齊藤進行役）私からも一言、公募委員の方々、有識者、それから議員の皆様、本当にありがとうございます。それからフロアの方々も御苦労さまでございました。それからその辺に座っている方々は何か針のむしろみたいな感じで、今年はそんなに雰囲気悪くしてやっていないつもりですので、去年ほど針のむしろではなかったのではないかなという気もしておりますが、本当に御苦労さまでございました。</p> |

|   |
|---|
| <p>お礼申し上げます。いろんな議論ができたのではないかなと思っております。これは事業仕分けではなくていろんな考え方を出す場ですので、いろんな方にいっぱい話をしてもらおうというのが大切だろうと思っております。ただ、これからどうやって具体策に結びつけていくのか。それはまたさらに考えていかなければいけないことだと思いますが、とりあえずいろんな議論ができたので実り豊かではなかったのかなということを申し上げて、本当にお礼申し上げます。ありがとうございました。お世話になりました。</p> |
|---|